

東京研修を経て

僕は、8月の8日と9日で東京研修に行っておきました。

二時間の新幹線の旅を経て東京に到着し、まず最初に霞ヶ関ビルで Misson ARM Japan 代表近藤玄大様より基調講演いただきました。近藤様は、義手の開発に携わっており、世界のグローバル化の中でどう備えたらいいのかを私たちに伝えてくださいました。実際に、世界でも活躍している方から直接お話を伺うことができるとも貴重な時間となりました。予定されていた時間があっという間に過ぎるほど近藤様のお話は目を見張るものがたくさんありました。

そのあとは、ディレクトフォース・笹川平和財団の方々と共にグループ討論を行い、さまざまなお話を伺うことができました。私たち、cグループは太田淳一様、村上悠平様、矢ヶ崎隆二郎様よりお話を伺いました。

まず最初にお話を伺った太田淳一様は管理職などの重要な役目を多く担っていた方でした。なので今の若い人々に求めることや、高校生活で大切なことなどをお聞きしました。1つ目に高校生活について大切なこととお聞きすると、将来の仕事や家庭生活、趣味など自分の複数の夢について考えること、勉強をして多くのことを体験すること、健康づくりが大切だと仰っていました。勉強勉強という感じではなく、多くのことを経験そして想像していくことも大切だということがわかりました。2つ目に若い人々に求めることを伺うと、親の仕事を見たことがない、「楽しいことを仕事に」という言葉に惑わされる、自分の見つけかたが足りない、自分のライフプランが不明瞭、周囲に流され場当たりの将来を決めるという解答をいただきました。確かに自分に置き換えてみても自分をよく知らなかったりどういう将来にしたいのかよく考えてはいませんでした。これを機に自分と向き合う機会を増やし、より豊かな将来にするために人生設計をもっとしっかりしていきたいと思いました。

次に、お話を伺った村上悠平様は外務省経済連携課というところでかなり世界的にお仕事をなさっている方でした。村上様はさまざまな視点から将来を決めることが大切だと仰っていました。また、反対を押し切ってやっておくべきことに、アフリカなどの旅や、日本全国の旅、などを挙げていらっしゃいました。やはりさまざまな世界を知り、色々な意見を取り入れ、将来設計をすることが大切だと考えていらっしゃるようでした。さらに省庁で働くには語学力が重要だとも仰っていました。そのためには受験勉強や、穴埋め、並び替え、独り言を英語で言うなど、さまざまなことで英語力を高めていくことが良いと仰っていました。政府開発援助(ODA)については海外の人づくりに重点を置いていくほうがいいとも仰っていました。自分も将来的には海外などで広く活動してみたいという気持ちが

あるので多くのアドバイスをいただくことができ嬉しかったです。そのためにも英語を一生懸命勉強していきたいと思います。

その次には矢ヶ崎隆二郎様にお話を伺いました。矢ヶ崎様は海外生活が20年ととても長く、多くの国々で活躍された方でした。海外生活で大変なことをお聞きするとやはり相手との相互理解が大変なようでした。90%は通常でもわかり合えるが残りの10%はお互いに尊敬することが大切だと仰っていました。また、仕事でやりがいを感じる時はどんなときですかと伺うと「派手ではないけど、人の支えになっていたとき」と仰っていました。異文化の友だちを持っていたほうがよいということや宗教、人種、性別の話題についてはさまざまな違いがあるので注意しなければいけないと仰っていました。先ほども述べたように自分も海外で働くことに憧れがあるので実際に生活を送っていた方にお話を伺うことができとても有意義な時間になりました。矢ヶ崎様は海外勤務のなかで危険な場面に遭うことも少なくはなかったそうです。銀行員としてアジアの国の役所に出向いたときに危険な目に遭ったり、恐らくいま日本人で知らない人はいないほどの有名なひとに「NO」とはっきりと言ったりさまざまなことがあったそうです。自分も矢ヶ崎様のように修羅場をくぐり抜け一回り二回り人間として成長すると共に相手がどんな人であれはっきりと「NO」と言えるような人間になりたいと思いました。

ディレクトフォース笹川平和財団の方から聞いたお話はどれも自分たちが今まで知ることがなかった世界を教えてくださいました。今までふわふわとして現実味のなかった自分の将来設計に具体性を与えてくれたことに感謝したいです。3人しかお話を伺うことができませんでしたが経歴をみるとお話を聞いてみたいかたが多くいました。またお話を伺っているうちに自分も将来、自分がそれまでにやってきたことを誇りをもって若い世代の人たちに伝えられるような立派な人間になりたいと思いました。そのためにもさまざまな視点から自分を見つめ直し目の前の一瞬一瞬を大事にして未来をより豊かなものにしていきたいです。

そのあとに行われた企業訪問で私たちの班は三菱重工の見学をさせていただきました。三菱重工では三菱リージョナルジェット(MRJ)の説明をしていただいたり三菱重工で行われている事業の説明、そして活動の様子をビデオなどで拝見させていただきました。航空機はとても繊細で1つも部品も欠けてはならないことや小さな傷も大きな事故に繋がってしまうということが部品を生で拝見させていただくことで再確認できました。質問にも丁寧にお答えいただき本当に感謝しかありません。

その日の夜、仙台二高のOB・OGの方々との座談会がありました。高校時代の応援練習などの話を聞くことができました。OB・OGの方々には東京大学や一橋大学に通っていらっしゃる方がいました。高校時代の部活との両立や勉強法、いま大学で学んでることなど、多くのことを聞くことができました。ディレクトフォース笹川平和財団の方々のお話とはまた違い現役大学生や社会人の生の声を聞くことができ、とても貴重な時間を過ごせました。二高の卒業生ということもあり共通の話題がたくさんあり、充実した時間でした。自

分はこの座談会を通して大学生活への憧れを持つことができました。大学生の方々から成功体験も失敗体験も両方向うことで大学受験へのイメージも湧かせることができました。

2日目には東京大学へ研修に行きました。

まず始めに駒場キャンパスの見学に行きました。東大では「fair wind」という団体の学生さんに案内をしていただきました。図書館などを見学させていただきましたが、蔵書数がとても多く今まで見たこともなかった本もたくさんありました。また自習スペースも多くあり、集中できて調べものも簡単にできるととてもいい環境だなと思いました。さらに図書館は見学した分だけではなく学部ごとにもあるのでとても驚きました。その後のワークショップではさまざまなお言葉をいただき自分の将来について考える機会が多くなりました。その後のプレゼンテーション「東大のことを知ろう」ではテレビなどでよく特集を組まれる東大ですが、それでも知らなかったサークルの話なども聞くことができました。

次に本郷キャンパスに場所を移して見学を行いました。集合場所の安田講堂は画像で見るとより迫力があり、その歴史を物語っていました。この後農学部の模擬授業受け、現在行っている活動や来年度の活動予定などのお話をいただきました。さらに見学させていただいた2つの学部ではどちらも目を見張るような研究をしていて自分の知らなかった世界を知ることができました。見学が終わると「fair wind」の方々に質問をする時間がありました。ディレクトフォース笹川平和財団の方々や仙台二高OB・OGの方々とはいまた違う話が聞けてとてもおもしろかったです。現役東大生の勉強法やバイト、一人暮らしの生活などさまざまなことを聞いたのでよかったです。とても有意義な時間になりました。

私は、この東京研修を通して未来に対するイメージが今までの何倍も現実性を帯び、より具体的なものになりました。今回忙しいなか私たちに対応してくださったディレクトフォース笹川平和財団の皆さま東大生の皆さま、三菱重工の皆さまそしてこの研修に関わっていただいたすべての方に感謝したいです。この気持ちを忘れず、目の前のことを一生懸命がんばり、さまざまなことに挑戦して自分の将来をより豊かなものにできるようにしていきたいです。学び多い2日間でした。本当にありがとうございました。